



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場会社名 株式会社アイロムグループ 上場取引所 東
コード番号 2372 URL <https://www.iromgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 豊隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 金融・経営管理センター長 (氏名) 菅原 明彦 (TEL) 03 (3264) 3148
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,678	△10.0	790	△67.2	1,225	△51.1	1,092	△44.9
2023年3月期第2四半期	9,639	40.9	2,409	180.8	2,503	151.8	1,983	174.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,169百万円 (△44.0%) 2023年3月期第2四半期 2,088百万円 (315.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	90.22	—
2023年3月期第2四半期	164.17	163.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,248	12,962	35.7
2023年3月期	35,129	12,154	34.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,955百万円 2023年3月期 12,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	14.4	4,200	15.4	4,200	27.8	2,900	14.1	239.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	12,338,365株	2023年3月期	12,338,365株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	230,813株	2023年3月期	230,803株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	12,107,537株	2023年3月期2Q	12,080,655株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、創業以来の中核事業であるSMO事業及びCRO事業の拡大を推進するとともに、グループ戦略として、SMO事業及びCRO事業で創出される資金を原資として、先端医療事業における医薬品や先端医療技術の開発、メディカルサポート事業のノウハウを活かした各事業のさらなる拡大のための設備投資等を進めています。各事業においては、引き続き変革と革新に取り組み、グループシナジーの最大化と模倣困難な競争優位性の確立を推進しており、中長期的な企業価値の向上に取り組んでいます。

上記グループ戦略に基づき、先端医療事業では、COVID-19ワクチン「IRO-203」等の開発を推進しています。「IRO-203」は国内初のウイルスベクターを用いた経鼻接種ワクチンとして開発を進めており、第I相臨床試験を開始し、目標症例数84例への投与が完了しました。将来的にはこの技術を他のワクチン等にも活用することを視野に入れて開発を進めております。

COVID-19ワクチンの臨床試験やその他のパイプラインの研究開発は、開発ステージの進捗に伴い経費が増加するため、当第2四半期連結累計期間では、前年同四半期比において影響が生じております。

一方で、中核事業であるSMO事業及びCRO事業は堅調に推移しており、SMO事業においては、基幹病院との提携拡大及びがんや難治性疾患を含むあらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制の構築を推進することにより、安定した収益拡大の基盤を構築しており、当第2四半期連結累計期間は計画を上回って進捗しています。また、下期に複数の大型案件の受託を予定しており、通期計画についても順調に進捗しています。

CRO事業においても、海外事業が堅調に推移するとともに、国内事業においても受託業務の拡大や統計解析分野のさらなる強化などの取り組みにより、医師主導試験をはじめとした新規試験の受託に繋がっており、下期には複数の新規試験の開始を予定しています。

その結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は8,678百万円（前年同四半期比10.0%減）、営業利益は790百万円（前年同四半期比67.2%減）、経常利益は1,225百万円（前年同四半期比51.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,092百万円（前年同四半期比44.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① SMO事業

当セグメントにおきましては、引き続きアンメット・メディカル・ニーズの高いがんや難治性疾患等の疾患領域の開発が増加しているため、専門医療センターや大学病院等の基幹病院との提携を拡大し、あらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制構築を推進しています。一方で、がんや難治性疾患等の試験と比較して1試験あたりの規模が大きいプライマリー領域の試験の受託も推進しており、当第2四半期連結累計期間は計画を上回って進捗するとともに、下期には短期収益型の大型案件の開始を予定しているなど、今期の計画は順調に進捗しています。

また、医薬品・医療機器等の開発はグローバル化や開発期間の短縮化が進むとともに、開発手法の変化により、臨床試験に対するニーズの多様化が続いています。当社グループのSMO事業では、医薬品開発を取り巻く環境の変化及び複雑化・高度化する臨床試験に迅速かつ柔軟に対応するため、より一層の人材教育の徹底を図っています。

なお、前期（2023年3月期）は大型案件の開始が上期に多かったことから、前年同四半期比では売上高及びセグメント利益は減少となっています。

その結果、売上高は4,280百万円（前年同四半期比25.5%減）、営業利益は2,089百万円（前年同四半期比36.2%減）となりました。

② CRO事業

当セグメントにおきましては、日本・オーストラリア両国にて保有する臨床試験実施施設において、欧米や日本を含むアジア・オセアニア地域の製薬企業等の早期段階の医薬品開発を支援しています。また、国内において、国内外の製薬企業の臨床試験や申請業務等の支援を行うとともに、医師主導試験や臨床研究の支援を行っています。

当第2四半期連結累計期間においては、海外の臨床試験実施施設における新規試験の受託が堅調に推移するとともに、国内の臨床試験実施施設や開発業務支援事業において安定的な収益を確保しています。

国内の臨床試験実施施設や開発業務支援事業では受託業務の拡大や統計解析分野の強化に継続的に取り組んでおり、下期には医師主導試験をはじめとする複数の新規試験の開始を予定しています。

一方で、オーストラリアにおける人件費や物価の上昇の影響等により費用が増加しています。

その結果、売上高は2,801百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は66百万円（前年同四半期比19.9%減）となりました。

③ 先端医療事業

当セグメントにおきましては、COVID-19ワクチンの開発において、国内初となる経鼻接種によるウイルスベクターワクチンの実用化を目指し、第I相臨床試験を開始いたしました。現在、目標症例数84例への投与が完了し、安全性や有効性等を評価するための観察期間となっています。

また、iPS細胞作製キット「CytoTune-iPS」のライセンス事業が顕著に拡大しており、複数の企業と新規ライセンス契約を締結いたしました。締結済のライセンス契約に基づく当該技術の再実施権が行使されるなど、ライセンス事業により基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会の創出に取り組んでいます。

当セグメントでは、前述のとおり臨床試験が開始となったCOVID-19ワクチンをはじめとする研究開発に注力しており、その経費が引き続き発生しております。それに対してライセンス事業や化粧品の販売及びOEM事業などの当セグメントにおける各事業の推進により収益の改善を図っています。

その結果、売上高は844百万円（前年同四半期比42.5%増）、営業損失は23百万円（前年同四半期は営業損失184百万円）となりました。

④ メディカルサポート事業

当セグメントにおきましては、開発事業者や不動産会社などと連携して、駅からのアクセスや地域の医療機関の需要など、様々な条件を満たす主に新築の物件を厳選してクリニックモールを開設しています。また、クリニックモールでの開業を検討する医師に対して開業支援を手がけるとともに、開業後の医療機関に臨床試験を紹介するなどその経営を多角的に支援しており、収益を確保しています。

一方で、当社グループの各事業のさらなる拡大のために、設備投資等を含めたサポートを行っており、それらにかかる費用が発生しています。

その結果、売上高は533百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業損失は35百万円（前年同四半期は営業利益28百万円）となりました。

⑤ その他

当セグメントにおきましては、上記以外の事業等により、売上高は219百万円（前年同四半期比656.9%増）、営業損失は542百万円（前年同四半期は営業損失118百万円）となりました。

(注)売上高は外部取引のみの合計であり、セグメントの営業利益は、セグメント間の内部取引による利益を含んだ合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末より1,119百万円増加し、36,248百万円となりました。これは工具、器具及び備品並びに投資有価証券が増加したことが主な要因となっております。

負債につきましては、前連結会計年度末より311百万円増加し、23,286百万円となりました。これは短期借入金が増加したことが主な要因となっております。

純資産につきましては、前連結会計年度末より807百万円増加し、12,962百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が主な要因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,386	8,901
売掛金	3,389	3,159
商品及び製品	80	78
仕掛品	345	393
原材料及び貯蔵品	387	378
短期貸付金	689	677
その他	1,448	2,015
貸倒引当金	△398	△398
流動資産合計	15,328	15,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,191	7,143
工具、器具及び備品（純額）	1,274	1,478
機械装置及び運搬具（純額）	1,059	985
土地	1,272	1,838
建設仮勘定	2,206	2,526
有形固定資産合計	13,003	13,972
無形固定資産		
のれん	915	890
その他	44	47
無形固定資産合計	959	938
投資その他の資産		
投資有価証券	2,959	3,443
長期貸付金	542	234
差入保証金	1,426	1,376
繰延税金資産	114	59
その他	794	1,016
投資その他の資産合計	5,837	6,130
固定資産合計	19,800	21,041
資産合計	35,129	36,248

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	576	508
短期借入金	6,360	6,860
1年内返済予定の長期借入金	2,172	2,297
未払法人税等	395	364
契約負債	372	575
リース債務	148	167
その他	2,361	1,925
流動負債合計	12,385	12,698
固定負債		
長期借入金	8,646	8,547
繰延税金負債	3	16
資産除去債務	150	162
預り保証金	390	390
退職給付に係る負債	170	167
リース債務	1,183	1,187
その他	44	116
固定負債合計	10,589	10,587
負債合計	22,974	23,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,899	3,899
資本剰余金	1,495	1,495
利益剰余金	7,036	7,765
自己株式	△424	△424
株主資本合計	12,006	12,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107	186
為替換算調整勘定	33	32
その他の包括利益累計額合計	141	219
非支配株主持分	6	6
純資産合計	12,154	12,962
負債純資産合計	35,129	36,248

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,639	8,678
売上原価	4,613	4,862
売上総利益	5,026	3,816
販売費及び一般管理費		
役員報酬	241	253
給料手当及び賞与	1,019	1,214
支払手数料	89	116
賃借料	202	241
研究開発費	371	242
その他	692	957
販売費及び一般管理費合計	2,616	3,025
営業利益	2,409	790
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	0	0
為替差益	349	511
助成金収入	55	43
受取地代家賃	2	107
その他	53	25
営業外収益合計	465	697
営業外費用		
支払利息	64	85
有価証券運用損	181	56
支払手数料	124	7
賃貸収入原価	0	91
その他	0	21
営業外費用合計	372	263
経常利益	2,503	1,225
特別利益		
固定資産売却益	59	193
その他	1	—
特別利益合計	61	193
特別損失		
固定資産除却損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	2,565	1,414
法人税、住民税及び事業税	558	280
法人税等調整額	11	41
法人税等合計	570	322
四半期純利益	1,994	1,092
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,983	1,092
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	78
為替換算調整勘定	20	△1
その他の包括利益合計	93	77
四半期包括利益	2,088	1,169
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,077	1,169
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。